

問1 日本の歴史において、894年に遣唐使の派遣が停止されたことをきっかけに、それまでの中国風の文化を消化し、日本の風土や生活に合わせた「国風文化」が発達しました。この時期の政治の中心を担っていた藤原氏が、自らの権力を象徴するとともに、仏教の救いを求めて建立した代表的な建築物の特徴について、正しい説明を選びなさい。（2019年 高知公立入試 類似）

- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 藤原頼通が建立した平等院鳳凰堂は、池の中に極楽浄土の宮殿を模して建てられた。 | 2. 聖徳太子が建立した法隆寺は、現存する世界最古の木造建築物として知られる。 | 3. 天武天皇が建立を命じた薬師寺は、白鳳文化を代表する左右対称の伽藍配置を持つ。 | 4. 坂上田村麻呂が征夷大將軍として活躍した時期に、唐招提寺の鑑真が建立を指導した。 |
|---|---|---|--|

問2 11世紀後半の日本では、それまで長く続いた摂関政治に代わり、天皇が位を退いてからも「上皇」として引き続き政治の実権を握る新しい政治形態が始まりました。この政治を始めた人物として正しいものは誰ですか。（2025年 岡山公立入試 類似）

- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 白河天皇 | 2. 聖武天皇 | 3. 桓武天皇 | 4. 持統天皇 |
|---------|---------|---------|---------|

問3 現在の一万円札の裏面には、ある建築物の屋根に据えられた「鳳凰像」が描かれています。この鳳凰像が象徴する建築物が建立された当時の日本の政治状況と、その背景にある思想について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2020年

奈良公立入試 類似）

- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 藤原氏が摂政や関白の職を独占する摂関政治が行われ、貴族の間で極楽浄土への往生を願う浄土信仰が広まった。 | 2. 源頼朝が鎌倉に幕府を開いて武家政治が始まり、厳しい修行によって悟りを開こうとする禅宗が武士の間で流行した。 | 3. 聖武天皇が国ごとに国分寺を建立して中央集権化を図り、仏教の力で国家を守ろうとする鎮護国家の思想が定着した。 | 4. 徳川家康が江戸幕府を開いて社会の安定がもたらされ、幕府の統治を正当化するために儒教の一派である朱子学が奨励された。 |
|--|--|--|--|

問4 平安時代初期に最澄や空海によって広められた仏教が、それまでの奈良時代の仏教（南都六宗）と比較して持っていた特徴として、最も適切なものはどれですか。（2024年 香川公立入試 類似）

- | | | | |
|---------------------------------------|---|--------------------------------------|----------------------------------|
| 1. 政治から離れ、人里離れた山の中の寺院で厳しい修行を行うことを重視した | 2. 国家の保護を強く受け、都に巨大な大仏や国分寺を建立して国を治めようとした | 3. 読み書きができない庶民のために、念仏を唱えるだけで救われると説いた | 4. 武士の精神的支柱として、座禅を組むことで悟りを開こうとした |
|---------------------------------------|---|--------------------------------------|----------------------------------|

問5 平安時代末期、保元の乱や平治の乱で勝利した武士が政治の実権を握りました。この時期、武士として初めて朝廷の最高官職である太政大臣に就任し、一族で高い官位を独占して繁栄を築いた人物を選びなさい。（2017年 沖縄公立入試 類似）

- | | | | |
|--------|--------|---------|---------|
| 1. 平清盛 | 2. 源頼朝 | 3. 白河上皇 | 4. 藤原道長 |
|--------|--------|---------|---------|

問6 日本の歴史事項をまとめた年表において、11世紀の後半に「白河上皇が位をゆづった後も政治を行う体制を始めた」という記述がある場合、その政治体制の説明として最も適切なものを次の中から選びなさい。（2021年 鹿児島県公立入試 類似）

- | | | | |
|----------------------------------|--------------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|
| 1. 藤原氏が娘を天皇の后にすることで、外戚として実権を握る政治 | 2. 天皇が位を退いて上皇となり、摂政や関白の影響を受けずに自ら行う政治 | 3. 将軍が幕府を開き、守護や地頭を任命して全国の土地を支配する政治 | 4. 律令に基づき、中央から派遣された国司が地方の行政を直接担う政治 |
|----------------------------------|--------------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|

問7 平安時代末期に政権を握った平清盛は、大陸との交流を重視しました。彼が経済的な基盤を固めるために推進した「日宋貿易」の説明として正しいものはどれか。（2022年 千葉県公立入試 類似）

- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 瀬戸内海の航路や、現在の神戸市にあたる兵庫の港（大輪田泊）を整備し、宋の商船を招き入れた。 | 2. 倭寇と正規の貿易船を区別するために「勘合」と呼ばれる札を用い、明との間で貿易を行った。 | 3. 将軍から海外渡航の許可証である「朱印状」を与えられた商人が、東南アジア諸国と貿易を行った。 | 4. 長崎などの港を拠点に、ポルトガル人やスペイン人と火縄銃や銀の取引を行った。 |
|--|--|--|--|

問8 飛鳥時代から奈良時代にかけて、日本は中国の制度を取り入れた中央集権的な国づくりを進めました。701年に制定され、刑罰に関する規定と政治の仕組みに関する規定をまとめた、律令国家の基礎となる本格的な法令は何ですか。（2020年 愛媛公立入試 類似）

- | | | | |
|---------|---------|----------|-----------|
| 1. 大宝律令 | 2. 養老律令 | 3. 五成敗式目 | 4. 十七条の憲法 |
|---------|---------|----------|-----------|

問9 平清盛が推進した日宋貿易は、当時の日本の経済に大きな変化をもたらしました。宋から輸入され、後の日本国内における貨幣経済の普及に決定的な役割を果たしたものは何ですか。（2022年 香川公立入試 類似）

- | | | | |
|-----------|-------|-------|------|
| 1. 宋銭（銅銭） | 2. 鉄砲 | 3. 生糸 | 4. 銀 |
|-----------|-------|-------|------|